

C-1 本時指導案

段階	配時	学習内容・活動<学習形態>	・指導上の留意点 □評価方法及び支援 □ <input type="checkbox"/> ・・・Bに引き上げるための具体的な手だて(■)
導入	5	1 前時の学習をふり返りを行う。 <一斉> 2 学習課題を確認する。	・前時に行った発表会をふり返り、発表した内容を確認させる。
邑知地区の「未来予想図」を描いてみよう。			
展開	20	3 邑知地区にはどのような課題があるのか考え、発表する。 <グループ・一斉>	・前時の発表会をもとに、邑知地区の「地域の環境条件」、「他地域との結びつき」、「人々の営み」の3つの視点からとらえ、意見をまとめさせる。 ・根拠を明確にしてまとめることを助言する。
地域の環境条件 ・田んぼばかりだから若い人がいない。 ・人口が減っている。 他地域との結びつき ・交通が不便である。 ・ブランド米が有名で他の地域との交流がある。 人々との営み ・若い人も農業を行っている。			
※本時における活用力をはぐくむ場面【4】と身につけさせたい力 場面：邑知地区の将来像について考える。 力：地域の課題に対してその要因を分析し、将来の姿を予想する力			
	20	4 邑知地区の将来像について予想や願いを考え、発表する。 <個人・一斉>	・これまで活用した資料や、調査結果から地域的特色を確認させる。 ・今後、邑知地区がどのようになっていくのか予想と願いを考えさせ、地域の一員である意識を持たせる。 □評価の観点②（社会的な思考・判断） 評価の方法【生徒観察・発表・ワークシート】 評価規準 A：邑知地区の課題や将来像について、様々な地域的特色と関連づけ、根拠や視点を明確にして考察する。 B：邑知地区の課題や将来像について、根拠や視点を明確にして考察する。
■邑知地区の将来像を予測できない。 ・学習をふり返りながら、個別に指導する。 ・1つのテーマについて、将来どうなると予測されるのか考えるよう助言する。			
まとめ	5	5 本時のまとめを行う。 <一斉>	・ワークシートに本時の学習のふり返りを書かせる。